

氏名：玉川一真

(論文主旨)

本研究では、個人の学習スケジュールを集中力を考慮して一日単位で管理するための線形計画モデルを提案する。この研究の動機は、従来のスケジュール管理では、理想を直感的に羅列するものが多く、実際のユーザーの集中力を考慮できていないという気付きにある。そこで、タスクの種類と時間帯に応じた集中スコアをモデルに組み込むことで、単に時間配分をするのではなく、個人の限られた時間の中でパフォーマンスを最大にするスケジュールを提案する。具体的には、一日のスケジュールの開始から終了まで時間を 10 分ごとのブロックに分け、各ブロックにタスク、休憩、食事のいずれかを割り当てる。各タスクに、ユーザーが必要とする最低限の時間を設定することで、制約のあるタスクが確実に遂行されるようとする。このモデルでは、各ブロックの活動がもたらす集中スコアの総和を最大化することを目的関数とする。これにより、単にタスクを消化するだけでなく、時間帯による集中力の変動を最大限に考慮し、タスクの配置から休憩・食事の最適なタイミングにまで、包括的なスケジューリングの最適化を可能にする。今後の課題は、集中スコアを定量的に評価する手法を確立することと、休憩や食事がその後の集中力に与える影響を動的にモデルに組み込むことである。これにより、より精度の高い、個人の状態に合わせた適応的なスケジューリングツールへと発展させていく。